



こんにちは

# 村田 けい子 です

2020.9.4  
№267

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56) 2868

## 「佐久食肉流通センター、無くすな！」切実な声が陳情に。

7月の全員協議会に突然公表された食肉センターの譲渡、廃止。11町村で作る佐久広域連合は、経営難を理由に、来年3月までに譲渡先を探し、見つからなければと場は閉鎖というもの。肉牛や酪農の生産者、JA、食肉販売のニチレイさんにも全く何の相談もなく、広域連合の首長会議で方向が決められたことに「生産者置き去りだ！」との怒りや困惑が広がっていました。

9月議会あてにJA佐久浅間肉牛部会の名で以下の陳情があがりました。

同趣旨の陳情は、立科町、佐久広域連合、JA佐久浅間、など関係機関に提出されたということです。「蓼科牛」として広く認知され、立科町の特産品として生産の奨励がされているだけに、突然のと場の譲渡廃止は「蓼科牛」のブランドが続けられるかどうか、の瀬戸際にあります。生産者や関係者に何の断りもなくの突然の報告に「広域連合は説明を」『対策を練るだけの時間が必要、3月末までとはあまりに拙速』の声が届いています。政府の無策により、アメリカやオーストラリア産の安い牛肉などがどんどん入ってきている状況に加え、つぎつぎとBSE、豚熱などの伝染病が起こり畜産農家は大変です。

安全でおいしい国産牛肉、「蓼科牛」の育成のために「立科町」の底力が試されます。

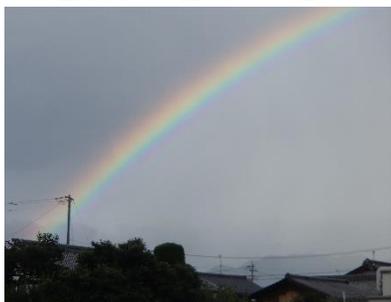
### 【陳情の趣旨】

- 1、信州蓼科牛の生産振興(ブランド維持)
- 2、佐久広域連合の生産者に向けた説明会の開催
- 3、佐久食肉流通センター譲渡先の提示
- 4、佐久食肉流通センター再編成の構築



### 秋 3 話

### 鉛色の空に虹！



### 一休さんのトンチ話

こっそりと茹で卵を食べているのを小僧さんに見つかった和尚さん。「和尚さん、それは何ですか」「こっ、これか？これは白ナスじゃ」。

その時、鶏の鳴くのを聞いて一休さん。「和尚様、白ナスの親が啼いております」といったとき。和尚さんのごまかしは見抜かれていましたね。昔から白ナスはあったんでしょうか。

台風接近を受けてか、雨がぱらついた夕方、東の空に明るいものが。目をやると虹！

安倍首相が辞任し、総裁選でかまびすしいこの頃ですが、明日の政治に明るい兆しか！



### 巨大かぼちゃ現る！

牛鹿集落の県道沿いに、巨大カボチャが。Mさんが育てたもので、大きいものは全長が50cmになるものも。牛などのエサにしかならないといいますが、ハロウィンの飾り物にはうってつけ！「コロナ退散！」「疫病去れ！」とでも書いて、眼・鼻・口を抉（えぐ）って、ろうそくでも立てておくと目を引きますよ。毎年育てているとの事。望月で行われる大きさ比べ大会にも参加しているそうです。

今週のパチリ

# 「国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める陳情書」 「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書」

〈提出〉  
長野県教祖佐久支部  
立科町単組長

国の2021年度の予算編成にあたり、意見書を提出してほしい旨の陳情。  
9月10日の社会文教建設常任委員会（委員長森澤文王議員）で審議予定。

## ● 「国の責任による35人学級の推進…」の陳情

長野県では現在、35人学級が中学3年生まで実現。しかしコロナ禍の下、さらに「身体的距離の確保」が求められ、町でも地域ごとやクラスごとの分散登校が実施されました。分散登校を実施した学校では「のびのびと授業が受けられる」「一人一人の理解度に合わせて進められる」と好評でした。しかし町では町単独で教師を雇いクラスに配置努力を続けています。この陳情は、「国が制度として35人学級にすることで、教師の定員を確保し、音楽や美術などの専科教諭も確保される」としています。

日本の公費負担率は**2.9%**と比較可能な35か国中で**最下位**、OECD諸国平均は**4.0%**、EU23か国平均は**3.9%**（2016年の状況調査/OECD 2019年9月10日公表した調査結果）

経済的には世界第3位でありながら、子どもを育てる教育費を国などが削り続けていることで、公費負担率は3年連続最下位を続けています。



## ● 国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

「義務教育の無償」を謳（うた）った憲法26条の規定にのっとり、小中の9年間の教育を受けさせる義務を親や自治体は負い、その費用は無償とすることが規定されています。しかし実際は、相次ぐ国の負担金の削減により、教育にかかる費用の一部を保護者負担にしており、コロナ禍の下、重い負担となっています。

この陳情は、国の負担割合を現在の3分の1から、以前のように2分の1に引き上げ、住んでいる自治体の体力（財政力）により保護者の負担に差が出ないように、国が責任を果たすことを求めています。

### 街角より

9条を守る立科の会

## 日帰り平和の旅 8.30

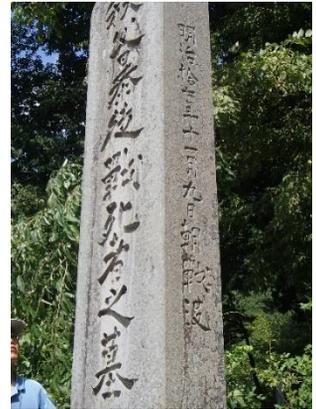
「戦争と平和、いのちを考える」8月は日帰りの平和の旅を行った会の皆さん。真っ先に南相木の「不戦の像」へ。「二度と会えないかもしれない」その思いが伝わる母子像です。

経済苦のためにやむにやまれぬ思いで立ち上がった秩父困民党の戦死者の記念碑、佐久市前山の貞祥寺（ていしょうじ）境内にある「回天」。人が中に入って敵艦に体当たりさせられた「人間魚雷」の3分の1の模型を見ました。戦況がどんどん悪くなる中でこれを挽回するための最終作戦である事

から「回天」と名付けられたとのこと。最後は浅科にある「陸軍59期士官学校生の疎開跡地。」松代大本営の造営に合わせ、そこを守る士官学生を疎開させ、訓練したという。

浅科 穂乃香の湯の南  
皇居遥拝の丘にたつ碑

南相木村「不戦の像」



秩父事件戦士の墓  
(小海町)

貞祥寺  
「回天」の模型

